



# 根知小だより

令和5年度2月号 令和6年2月5日発行

糸魚川市立根知小学校

〒949-0531

糸魚川市東中 5121-1

TEL 025-558-2100

Fax 025-558-2109

Mail

nechi@itoigawa.ed.jp

## ◇根知小のスキー授業、スキークラブの意義とは。

暖冬と言われる今年ですが、グラウンドにも雪が50cmほど積り(1月29日現在)、雪景色が広がっています。根知っ子の楽しみにしている冬のスポーツ、スキー授業、スキークラブも始まり、校内スキー大会に向けてスキー技能を高めています。私も前回根知に勤務した25年前(まだハの字の初心者でした、今は市内教員でおそらく一、二番のスキー好きです)から冬のスポーツとしてスキーに年間15回ほど親しんできましたし、根知の子どもたちにとって、この活動がどのような意味や意義をもつのか、改めて考え、練習前の挨拶で伝えてきました。まず、この授業、教育活動のめあては3つあります。①友達と励まし合いながら、自然の中で運動することを楽しむこと②基礎的なスキー技術の向上を図るとともに、自分の体を知り、体力・精神力の増強を図ること。③高い目標を立て、進んでスキーの技能を高めようとする事です。



県内には500近くの小学校がありますが、学区にスキー場をもつ学校は、20校はないと思います。恵まれた自然環境、スキー場があることを生かして運動する中で体力をつけ、スキー技能を高めることができるのは『根知小ならではの』大変貴重な体験、教育活動です。この『根知小ならではの』教育活動で「根知の子は、やっぱりスキーが上手だね」と褒められたり、認められたりすることができる。少し抽象的な言い方ですが、これを私は「根知に生まれ、生きた、私をつくる」ことだと考えています。スキーが上手なこと、それは根知小に通っている証(あかし)や誇りであり、認められた自信につながります。これはほんの小さなことかもしれませんが、とても大切なことです。私は、この証や誇り、自信は一生の財産になると思っていますし、スポーツを通じて仲間と繋がり、何歳になっても健康でいきいきと生活する生涯スポーツにも通じるものと思います。もちろん1回滑って上手になるわけではありませんし「難しいな怖いな」など様々な場面もあります。大会前のポール練習や大会に臨むときには、大変な緊張感もあり、それに打ち勝つ心が鍛えられます。また、ワーケーションの子どもたちには、スキーの魅力について、「大自然の中」「歩いてはとてもいけない高いところへ」「地球の重力を生かし」、「スピードの面白さ」「リフトでの楽しい会話」なども話してきました。さらに、根知地区からは、保護者の佐藤栄一さんを始め、青木哲也さんなど、全国区で活躍する選手も輩出されています。児童減によりアルペン選手が減っていることは残念ですが、身近にお手本となる選手の滑りを見ることができるのも、本当によい経験になると思います。こうして考えれば考えるほど、スキーは根知小にとってなくてはならない特色ある『根知小ならではの』教育活動であることを感じます。

最後に、大きな災害への対応が続いている中で、当たり前のように今年も楽しくスキー授業、スキークラブができること、そして保護者の方の御協力に感謝しています。引き続き、体調面への御配慮や大会への御協力をよろしく願いいたします。



## ◇根知小トピックス！ 充実した3学期の生活を送っています。



大谷翔平グローブでキャッチ！

上教大の先生が参観されA.Iとの関り方を学びました。

真剣な訓練の様子。

低学年のスキーマッチリ

一月往ぬる二月逃げる三月去るの言葉通り、月日がとても早く流れる中、1月29日（月）から2月2日（金）までは3学期のワーケーションを行いました。すっかり根知に慣れた3人が冬の遊びや活動を満喫しています。今年も来校された保護者の中から、子どもたちも聞き覚えのあるYAHOO！ JAPANにお勤めの方にお話を聞き、高学年の児童は見識を深めることができました。

## ◇3月のおもな行事予定



5日（火）	全校算数テスト、糸中卒業式	15日（金）	地区子ども会
6日（水）	委員会	20日（水）	春分の日
8日（金）	学習参観日（6送会）、PTA総会 学年懇談会、引継会	21日（木）	後期通知表配付日、3学期終業式 卒業式前日練習
12日（火）	読み聞かせ、 学年末事務整理5限下校（～14日）	22日（金）	卒業式
		26日（火）	離任式



## ◇1/31(水) 全校集会講話より「スキーの歴史、馬になりたい口バ」

今週はワーケーションの3人の子どもたちも来ていますので、楽しく怪我無くスキー授業ができるといいですね。せっかくなので、今日は少しスキーの歴史についてお話しようと思います。※昭和49年2月22日第1回根知小スキー大会。※根知小裏、坪山スキー場ができるまでの苦労、地域の絶大な御協力、20年間手作りのスキー場での練習。※平成4年からはシーサイドバレーでの練習、30年。※さらにそこから50年以上前113年前のスキー発祥の地、上越のお話。レルヒ少佐と陸軍第13師団、高田の町の活性化、桜もこの頃に。スキーの一大産業化、レルヒ祭のお話（※中略）きて、少し関連して今日は、イソップの寓話を1つ紹介します。



（あらすじ）ある牧場に毎日重い荷物を背負わされ、不味い餌しか与えられないみすぼらしい姿の口バがいました。口バの小屋の隣には毛並みの良い馬たちが飼われている小屋があり、美味い餌を与えられ丁寧に世話をされる馬たちを見て、口バは「自分も馬に生まれたかった」とうらやましくてたまりませんでした。しかし、あるとき戦争が始まり、馬たちは軍馬として戦場に連れて行かれ、大怪我をして戻ってきました。一頭の馬が口バに向かって「戦争に駆り出され、死ぬような思いをするなんて、もうこりごりだ。ああ、僕も君のような口バに生まれたかった」と言いました。これ以降、口バが馬をうらやむことはなくなりました。「隣の芝生は青く見える」という言葉があります。あの人はいいなあとか、あっちのお家はいいなあとかうらやましく思う気持ち、他人のものは何でもよく見えるけれど、それは違いますよ、比較しすぎることの愚かさを説いた西洋のことわざです。あなたがうらやましいと思っている相手もまた、あなたのことをうらやましく思っている。自分が相手と同じ立場になったとしても幸せになれるとは限らない。社長さんでいいなあ、うらやましいなあ、でも、きっとお仕事はとても大変だと思います。東京はいいなあ、上越はいいなあ、でも、それは隣の芝生が青く見えるだけで、都会には都会の、大きな学校には大きな学校の大変さや悩みもあるでしょう。他人のものをうらやましいという気持ちがわいてきたとき、でも、それは自分の人生にとって、本当に自分の生きがいになるのか必要なのか、夢や願いをかなえる、自己実現につながるのか、そんなことをじっくり考えてみるのもよいと思います。調べたら「隣の白米より内の粟飯」「我が寺の仏尊し」「我が家に勝る所無し」という言葉も見つかりました。自分の芝生が青く見えるように、根知も東京もお互いになるといいですね。

